



東村山稲門会第25回通常総会の書面審議による結果報告

第25回総会は、新型コロナウイルスの感染禍により書面審議で実施しましたので、その結果について下記の通り報告致します。

記

1. 書面審議期間 令和2年11月9日（月）～11月18日（水）
2. 書面配布日時 令和2年11月9日（月）～11月11日（水）郵送
3. 議 事
 - 第1号議案 2019年度（令和元年度）事業報告
 - 第2号議案 2019年度（令和元年度）会計報告・監査報告
 - 第3号議案 2020年度（令和2年度）事業計画案
 - 第4号議案 2020年度（令和2年度）予算案
 - 第5号議案 役員選任案

4. 第1号議案～第5号議案まで全て滞りなく承認されました。 以上

※一部の会員から貴重な意見書をいただき、11月20日のZOOMによる運営会議で検討しました。
今後の活動に生かさせていただきます。

（山本 岩男 記）

山本新会長 就任挨拶

稲門会活動に参加して豊かな生活を！

山本 岩男

新型コロナウイルス禍によって異例の書面審議になった第25回通常総会によって、11月19日に第7代の会長に選任されました。

新型コロナウイルスの第3波感染が叫ばれているなか、会員の皆様には不自由な生活を強いられていると拝察しています。日々の生活において慎重に行動しながらも、with コロナの時代を楽しく元気な生活を追求していきましょう。大内前会長には、4年間稲門会活動の発展に努力されたことお礼申し上げます。

東村山稲門会は、会員の高齢化と新入会員の減少により困難な状況が続いています。当会は会員相互の親睦と研鑽を第一の目的としています。会員の皆様にはこの際、是非東村山稲門会の行事と同好会活動に積極的に参加していただきたいと思っています。「早稲田大学のOBはすごい！」と10月にお亡くなりになった小亀さんが言っていました。東村山稲門会の会員には、経験豊かで優れた知見を持った人がたくさんいます。稲門会活動への参加は、会員の皆様の生活を豊かにしてくれると確信しています。我々役員は、皆様が参加して良かったと思われるような活動にするよう努力します。

東村山稲門会は、来年平成28年創立以来25周年を迎えます。ここまで会を継続・発展できたのは、諸先輩の並々ならぬ努力の結果と思っています。ここに改めてお礼申し上げます。今後さらに当会が、30周年、40周年と維持・発展して行くためには我々会員全員が力を合わせ、行事や同好会活動の活性化に努め、魅力ある稲門会にしていくことが必要です。又、そのためには現会員に続く若い新入会員の入会が必要です。今後ともポストパーソンをはじめ、会員の皆様が新入会員入会活動にご協力くださるようお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染が今後どのようになるか不明ですが、来年1月から3月の校友会からの通知に従い、途絶えていた対面による活動を段階的に再開していきます。

又、東村山稲門会ニュースは、会員相互の絆を深める要であり、1月より隔月発行で再開していきます。今後とも会員各位のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

大内前会長 退任挨拶

会長退任のご挨拶

大内 一男

第 25 回総会は書面審議という当会初めての試みにより 2020 年 11 月 9 日から 18 日にかけて実施され、私は任期満了により会長職を退任する事になりました。

2016 年の「創立 20 周年記念」に当たる第 21 回総会で當間昭治氏からバトンを引き継ぎ第 6 代会長を拝命、最初に取り組んだのがホームページのリニューアルを始め、栄えある周年事業でした。一方任期最終年の今年度は新型コロナという未曾有の災禍の下、通常の活動がままならない中、リモート活用や臨時ニュースの発行により会内の関係性維持に努めるのが精一杯でした。そして何とか 2 期 4 年の任期を全うすることが出来ました。これも偏に役員および会員の皆様のご理解ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。有難うございました。

初代会長大西幸夫氏は会員同士の懇親、相互啓発のみならず一般市民も巻き込んでの、東村山市の文化向上、街づくりに貢献できる活気ある会にしてゆきたいと所信を述べられていました。その理念を具体化してきた市民雑学講座は 2017 年 12 月 10 日、東村山市を舞台に映画化された小説「あん」の原作者であり、校友でもあるドリアン助川氏をお招きし節目の第 100 回記念の講座を開催することが出来ました。補助椅子を出すほど満員になった会場を眺めながら、諸先輩の志や、この企画に携われた事を誇らしく思ったものです。

校友会本部組織委員会の専門委員を務めてみて、我々地域稲門会の多くが苦境に立たされているのを感じました。日く会員の高齢化、会員減少傾向、若手会員また女性会員入会が少ない等々です。社会状況や価値観の変化、情報環境の激変等に由来する構造的な問題ではとも言われ始めました。パラダイムシフトが進行する中、地域稲門会の活性化には新しい考え方と知恵が必要なのかも知れません。

新会長は山本岩男氏にお引き受け頂きました。副会長兼事務局次長そして副会長兼事務局長として都合 7 年間、私を支えると共に持ち前の実行力で、新入会員勧誘活動や当会の財産、ニュースの編集長等核心的業務を担い続けてくれました。

パンデミックの渦中が新体制の始動となり、先の見通しがつきがない状況が続きます。会員の皆様におかれましては新会長、今期役員に暖かい眼差しとお力添えを頂けますようお願いするとともに、優しく活気ある東村山稲門会が永続する事を祈念し、会長退任のご挨拶とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染防止へのご協力御礼および 2021 年 1 月～3 月の校友会・稲門会活動についてのお願い

2020 年 10 月 13 日

新型コロナウイルス感染防止へのご協力御礼 および 2021 年 1 月～3 月の校友会・稲門会活動についてのお願い

本年 2020 年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、早稲田大学では卒業式・入学式をはじめとする様々な式典・イベントを中止するとともに、現役学生や関係者の命と健康を守るために細心の注意を払ってまいりました。

早稲田大学校友会についても、感染拡大防止のため、年内（2020 年 12 月末日）までは実際に集まっての対面活動を中止・延期とする措置をとっていただくようお願いをするとともに、今年度の「ホームカミングデー」および「稲門祭」についても中止とさせていただきます。大変な苦渋の決断ではありましたが、特に校友会・稲門会活動では沢山の方が集まって懇談や飲食を共にする機会が多いこと、感染すると重篤化するリスクが高いと言われているご高齢の方も多いため、一層の注意が必要であると慎重に考え、要請（お願い）をさせていただきました。活動を楽しみに予定されていた校友の皆様には大変申し訳なく思っております。それにもかかわらず、校友の皆様からは本学の感染防止対応に温かいご理解とご協力をいただきました。

（次ページへ続く）

(前ページより)

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、家計支持者の収入激減や学生本人のアルバイト収入の減少等で修学の継続が難しくなった学生を支援するための「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」には校友の皆様からとても大きなご支援を賜り、お蔭様で多くの学生を救済することができました。こうした校友の皆様による温かい応援に心から感謝申し上げますとともに、力強く厚い応援を大変誇りに思っております。

さて、校友会では、コロナ禍の状況を注視しつつ、年明けの活動の再開時期についても検討してまいりました。現在、国内における新規感染者数は横ばいである程度落ち着いているように見えますし、政府等による各種キャンペーンなどの実施もあり、徐々に様々な活動が再開されております。早稲田大学においても9月下旬から秋学期が開始され、対面授業の導入や開門時間の延長、博物館関係等の各種施設の再開など緩和が進んだこと等を踏まえ、校友会活動については年明けの1月から、これまでの中止・延期要請を段階的に解除（感染対策を十分に講じた上での活動再開）していくことといたします。

しかし、一方でウイルス感染自体が大きく収束する見込みが立っておらず油断のできない状況であること、食事会・懇親会における感染が依然として多いこと、さらに冬季に入ると新型コロナウイルスと季節性インフルエンザが同時流行する予測も出ていること等を踏まえ、年明けの2021年1月から3月末までの期間については、以下のとおり慎重を期した活動再開とさせていただきます。

<年明け 2021 年 1 月～3 月までの方針について（お願い）>

①感染リスクを回避した活動といたしましては、インターネット機能（オンライン）やメール・郵送・電話などの手段を推奨いたします。ただし、地域によって感染状況には差がありますし、新型コロナウイルスを取り巻く状況も刻一刻と変化しています。各支部・稲門会において、来年1月～3月に対面活動を行う場合には、国や各自治体からの指針をきちんと遵守し、充分にご注意いただきながらの実施をお願いいたします。たとえ少人数であっても、三密（密閉・密集・密接）を避ける工夫やマスク着用・消毒・検温などの感染対策は徹底して行ってください。特に、校友会・稲門会の活動は感染すると重篤化のリスクが高いと言われているご高齢の方も多くご参加いただいておりますので、充分にご注意ください。感染対策を徹底の上で実施することが困難な場合（不安が残る場合）は、3月末までは活動をお控えください。

※飲食にあたっては特に注意をしてください。三密の中で集まっての飲食やビュッフェ形式・大皿料理形式は感染リスクが高まることから避けていただくとともに、参加人数を絞る、食事中はソーシャルディスタンスを充分にとって会話を控えるなどの感染防止策を心掛けてください。

②総長・理事会メンバーをはじめとする大学関係者につきましては、入学試験・卒業式等をはじめとする年度末までの極めて重要な大学運営に支障をきたすことの無いよう感染には十分に注意しなければなりません。あわせて大学関係者が校友の皆様にご感染させてしまう事態も避けなければなりません。その点を踏まえ、大学関係者については大変申し訳ございませんが、今年度末（3月末）までの対面による支部・稲門会行事へは欠席とさせていただきます。ただ、今年度の各支部総会のスケジュール予定につきましては、可能な限りそのまま来年度に生かせればと考えており、現在2021年度のスケジュールの調整・立案等を進めております。

(次ページへ続く)

(前ページより)

※また、当然のことではありますが、大学としては学生の健康を第一に優先して考え、守らなければなりません。つきましては、上記②の大学関係者には学生も含んだ形でお考えいただき、3月末までの対面による支部・稲門会行事への学生の参加については慎重を期して欠席とさせていただきます。この点もご理解とご協力をお願いいたします。

③年明け1月2日・3日に予定されております「第97回東京箱根間往復大学駅伝競走」については、関東学生陸上競技連盟から沿道や競技会場での応援自粛要請が出されています。早稲田の選手たちを熱く応援いただきつつも、くれぐれも要請に反することが無いよう、校友の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

④2021年3月13日(土)に予定しておりました春の「代議員会」「幹事長事務局長会」については、参加対象者数が非常に多いことから慎重を期し、年明け3月までは対面での開催はせず、メール等での審議とさせていただきます。こちらは日にちが近くなりましたら、あらためてご案内いたします。

早稲田大学の同窓会組織である校友会・稲門会の集まりで万が一、集団感染等が発生してしまった場合には、大学の“宝”である校友の皆様の大変な健康・命が危ぶまれる事態となってしまいます。また、社会的インパクトも大きく、早稲田大学の教育・研究活動、入学試験、卒業式・入学式などの諸行事、そしてようやく徐々に動き出したばかりの現役学生の貴重な大学生活等にも大きな影響を及ぼしかねないということを重ねご理解の上、上記のご協力をお願いできればと存じます。

来年4月以降(2021年度)は、対面による各種活動が本格的に可能となり、大学関係者も校友の皆様と一緒に楽しく交流できるようになることを大いに期待して待ち望んでおります。4月以降の活動方針については、国内外の感染状況等々を注視した上で、日程が近くなりましたら、あらためてお知らせいたします。感染の状況によっては、今後の活動内容・活動方法・手段等につきまして、ご相談させていただきながら、無理の無い形で連携して進めたいと考えております。

少し早い時期での周知となりますが、イベント会場の予約・キャンセル等の関係もあり、新年会などを控えた各支部・稲門会からのお問い合わせも増えてきたことから、差し当たって年度内(来年1月~3月)については、上記の方針とお願いを示させていただきました次第です。ただし、今後の感染状況の変化等によっては、方針を変更させていただく可能性もありますことをあらかじめご承知おきください。

このたび、半年以上に渡る活動の中止・延期要請を解除させていただきましたが、大学・校友会といたしましては、校友の皆様を含む早稲田大学関係者の生命と健康を守ることが第一となります。校友会・稲門会活動のみならず日常生活におかれましても、くれぐれも慎重に感染防止策をとることを心掛けていただければ幸いです。

早稲田大学ならびに早稲田大学校友会にとっても、未曾有の深刻な事態でございますが、早稲田関係者がみんなで協力し合い、この大きな危機を乗り越えて行けることを心から願っております。引き続きではございますが、なにとぞご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

2020年10月13日

早稲田大学総長・校友会会長
田中 愛治

早稲田大学理事・校友会代表幹事
萬代 晃

追悼 第四代会長 小亀 輝雄さん

小亀 輝雄さんを悼む

井垣 和太

小亀 輝雄さん あなたは、東村山稲門会の産みの親であり、育ての親でもありました。

平成8年11月11日の設立総会を迎えるまでの一年間余り、準備委員会の一員として海千山千の各委員の熱い思いをまとめ上げ母校早稲田大学の要職を務め乍ら、時の総長奥島隆康先生の記念講演を軸に、中央公民館で盛大に大きな産声を挙げさせたのです。

以来、大西、山下、三宅、の三代会長を支えて、事務局長、あるいは副会長として、二百名内外の会員のまとめと、毎月の稲門会ニュース、年次の市内校友千二百余名対象の「東村山稲門会会報」発行をスムーズに進行させて来られました。毎月第一土曜日午後に関する役員会は、明るく遠慮の無い議論が常でしたが、終了後のイッパイで和気藹々、小亀さん行きつけの居酒屋「丸藤」が何時からか、誕生会、新年会の例会場と成りました。

東村山稲門会における、小亀さんの大きな貢献は、会としての対外的なつながりを太く強く推し進めてこられた事でしょう。

勿論、役員、会員の皆さん個々の実行力と協力が有っての事ですが、早稲田大学、校友会の各組織、対市民行政、広域に亘る各地稲門会との交流、更に他大学OB会との友好、旅行先の稲門会との交歓等々。これを「顔の広さ」と言うのだなと、つくづく感じ入る次第です。

平成18年(2006)、東村山稲門会設立十周年目の年次会報紙上で東村山稲門会の「夢」特集の中で、小亀さん、貴方は次のようにのべておられます。

- まず、市内に広いマンションを確保して、役員会をやったり、会員が自由に出入り出来、くつろげる場を確保する。
- また、市内在学の高校生が早稲田大学に入学したら、歓迎会を開催し在学生との交流を深める。
- 経済的に困っている学生には、当稲門会の奨学金を貸し付ける。
- 東村山市の姉妹都市である柏崎稲門会など、地方の稲門会との交流を深め、相互にホームステイを行ったり、特産物を交換したりする。

『平均寿命まであと十年・・・。ジャンボ宝くじが当たるか、全ては真夏の夜の夢か?』

絵空事とは思えない真の「夢」ですよ。

ワセダ、ワセダのエールが響きます。

会発足以来十二年、事務局長、また副会長として三代の会長を支え、会員の融和と外交面で多大な功績を上げられたことは、誰もが認めるところです。

平成20年11月から、四代目会長として一層ご尽力され、会の益々の隆盛を図ってこられました。

この様に夢と実行力を備えておられた貴方でしたが、ここ数年は足の痛みに悩まされ、名医を訪ねて、治療快復に努めてこられました。お疲れ様でした。ごゆっくりお休み下さい。

そして、これからも、天上から東村山稲門会の発展充実をお見届けください。

御霊の安らかならむ事を念じつつ。

合掌



(平成24年4月28日)

第61回俳句同好会にて撮影)

(次ページへ続く)

(前ページより)

[小亀さんが詠まれた句のご紹介]

早慶戦勝ちて祝杯生ビール 稲生

平成14年(2002年)俳句同好会にて。

「稲酔」発足からの連衆小亀稲生さん早稲田をこよなく愛され、正真正銘のワセダ人でした。俳句も、早稲田の風物・空気等を数多く詠まれ面目躍如たるものがありました。掲句の感激は二十年後のつい先日も、熱く 熱く味わう事が出来ました。安らかにお眠りください。

俳句同好会の方々からの献句

有明の月の彼方へ逝かれけり

菊田 一平

善き人は先に身罷る稲生も

井垣 稻雀

紺碧の空の下逝く雁となり

八木 竜湖

秋寒や我置き去りに逝きし友

風間 青葉

天高く漢稲生登りけり

出田 邦山

人生は生老病死虫の声

戸田 梟

天国でも人生劇場早稲酒ぞ

黒田 柿黒

天高し「紺碧の空」永遠にあれ

波多野 敏治

大木の倒れて早稲田の杜寒し

山口 泰山

会からのお知らせ

○令和3年1月定例役員会

日 時 令和3年1月16日(土) 9:30~12:00

場 所 市民センター2階

○令和3年1月~3月の東村山稲門会の対面による活動について

早稲田大学校友会による2020年10月13日付け書信「校友会・稲門会活動についてのごお願い」に従い、東村山稲門会の対面による行事・同好会活動は、これまでの中止・延期要請を段階的に解除していきます。関係各位の皆様においては、国や各自治体からの指針を遵守し、充分注意しながらの実施をお願いします。尚、11月中旬より感染数が再び増大し、状況が悪化しております。感染対策を徹底の上、慎重に活動していただくように重ねてお願いいたします。

○転居

成田 延雄さん 東村山市野口町 (7月31日付け)

○退会

顧問 小亀 輝雄さん (10月17日ご逝去)

謹んでお悔やみ申し上げますと共に、ご冥福をお祈りいたします。

吉澤 雅子さん (自己都合)

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

カラオケ同好会

世話人：黒田 祐司 TEL 080-9567-6994
高橋 文子

○第3回 ZOOM カラオケ例会は11月19日(木)午後2時から4時半までの2時間半。一部不都合が有りましたが、コロナで対面困難時に仮想空間でも会う機会は貴重、其の上カラオケを歌うのは楽しいものです。参加者4名(敬称略)と熱唱曲の例：大内「黄昏のビギン」「夢芝居」「北酒場」、黒田「矢切の渡し」「風雪流れ旅」「誰か故郷を想わざる」、高橋(正)「ついて来るかい」「異国の丘」「幸せはここに」、上町：聴取のみ(仕事を終え途中参加、夕飯支度中)

○第4回 ZOOM カラオケ例会は下記の通りです。

日時：2020年12月17日(第3木曜日)午後3時～6時

クリスマスでもあり飲み会1時間の後にカラオケしたいとの希望者多数。

参加希望者は、黒田まで連絡ください。

参加申込み締切日：12月15日(火)午後6時

黒田・E.mail: yuji-kuroda@msa.biglobe.ne.jp



(黒田 祐司 記)



写真を楽しむ会

世話人：藤井 省 TEL 080-1112-6182
小菅 宏、野中 昭夫

第8回 『写真を楽しむ会』開催のご報告

11月26日(木)14:00～16:00に第8回例会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の第3波が押し寄せるなか、オンラインで開催され、3回目のオンライン例会となりました。

[活動内容]・参加者は持参した写真2枚を順番に披露し、その写真の狙い、工夫した点を説明しました。そして、お互いに質問したり、感想を述べあいました。

- ・新たな試み「私のお気に入り分野」として、今回は高橋(正)さんが旅のスナップ写真を紹介してくれました。GoTo トラベルを利用して訪ねた西吾妻山の紅葉、富士五湖からの富士山、美ヶ原高原から眺めたアルプスを撮影した写真でした。絶景を前にしたスナップ写真の難しさなどについて皆さんと語りました。
- ・今後の進め方を検討し、テキストを利用した基礎知識の勉強と作品撮影を並行して進めることになりました。
- ・活動の様子は、ZOOMのレコーディング機能で録画して、欠席者とも共有しました。

[参加者] 6名：阿部夫人、小菅(宏)、高橋(正)、野中、藤井、湯浅。

[次回の予定]・第9回例会：3月25日(木)13:00～15:00、中央公民館もしくはオンライン(コロナ感染拡大の状況見極めて決める)。

- ・基礎知識勉強会：1月28日(木)13:00～15:00、オンライン。



(藤井 省 記)



俳句同好会

世話人 : 井垣 和太 TEL 04-2924-2934
黒田 祐司 TEL 080-9567-6994



コロナ禍の収束が一向に見えない中、定期的に俳句会を継続していくために、10月もいつも通りの予定で「稲酔」通信俳句会を実施致しました。

各会員からの5句の投句を、ランダムに無記名で清記一覧表にして、メール配信し、天・地・人の三才各1句及び秀2句の計5句選句の上、返信して戴き、世話人が作者名・互選結果を記入して再度会員へ配信するという形式です。

オンライン句会も考えられますが、少しく運営が難しいかと思えます。

真に残念な事ですが、平成14年発足以来の会員であった小亀稻生（輝雄）さんが10月17日に逝去されました。早稲田精神に溢れた句を多く物され、正に「稲に生きた」俳人でした。各人手向けの1句を今回の句集に載せました。（編集者注：本ニュースの6頁をご覧ください）

毎回部屋を提供していただいた割烹「丸藤」もコロナ騒動の影響で、閉店の止む無きに至りました。稲門会慰安の場だけに慚愧の思い一入と言ったところです。

今年もあとわずか。来年は心機一転「稲酔」句会も頑張ります。

会員の皆さん。25年目の東村山稲門会を盛り上げましょう。

（稲雀 記）

編集後記



○本号より新体制でニュース編集を担当しています。編集長は私（藤井）、編集委員は小菅、滝来（京）です。4人体制から3人体制になりちょっと寂しいですが、より多くの方が気楽に投稿して下さるニュースにしたいと思えます。

★募集★私たちと一緒に紙面づくりをして下さる方、ご連絡ください。

○コロナ感染防止の影響で飲食店が追い込まれている。新橋や学生街の様子が報道されているが、地元の「丸藤」も閉店のように残念。仕事帰りによく寄った居酒屋、旅先で地物を楽しんだ店、仲間との宴席で利用した和食店はどうしているのだろうか？

○当会でも ZOOM を利用したオンライン会議が少し定着してきた。普及のお手伝いをした者としては嬉しく思う。私は、自治体や団体が開催する無料もしくはワンコインセミナーを探して楽しんでいる。妻は、故郷の介護施設で暮らす義母とオンライン面会している。興味あるオンラインセミナーを探してみたら如何でしょうか。

（藤井 省 記）

○来年1月より、定期刊行ニュースを隔月で再開します。

次号の原稿締め切りは、12月19日（土）です。皆様の投稿をお待ちしています。

送付先 藤井 省（さとる） FAX : 042-393-1403 E-mail : satofj00@jcom.home.ne.jp

メールで投稿される方は、藤井以外の下記編集委員にも、同報メールをお願いします。

小菅 宏 hkosuge@asahi.email.ne.jp、滝来京子 k-takirai@jcom.home.ne.jp

俳壇

菊田 一平
にぎやかに芋の面取りして夜長
目秤に足して芋煮の酒・醤油

黒田 柿黒
飲み会中ズームで見るとはパリの雪
ロンドンよりテニス中継玉子酒

八木 竜湖
柿の実の頃合を知り烏かな
夕焼けやフランス料理のフルコース

山口 泰山
何食わぬ顔して猫も年用意
椅子ひとつ詰めて賑やかおでん酒

井垣 稲雀
籠もり居の十一月の千切れ雲
三方でからず鳴き交う一茶の忌

出田 邦山
時雨るるや閉店のピラ色褪せし
翁忌や吾が旅路まだ半ばほど